

大牟田市市史編さん基本方針

1. 目的

今回の大牟田市市史編さん事業は、市制100周年記念事業の一環として取り組むものである。前回（昭和36年～昭和44年）の編さん事業により刊行された「大牟田市史（上・中・下・補4巻）」を補完するものとして、昭和39年以降の50年間の本市の歴史を明らかにし、もって市民の皆さんが本市への理解を深め、愛着を高め、誇りを醸成していける契機となることを目指す。また、現行の市史についても見直しが必要な箇所について見直しを行っていく。

2. 事業期間

今回の市史編さん事業の事業期間は平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

3. 編さんの要綱

- (1) 昭和39年から平成25年までの50年間の歩みを最新の情報を基に、本市の歴史を理解し将来の礎となる資料として編さんする。
- (2) 現行の市史においても見直しが必要な箇所については見直しを加え、一定の成果物として取りまとめる。
- (3) 広く市民に親しまれ、郷土愛を醸成できる市史とするため、客観的でできるだけ平易に記述し、写真や図版の活用を図り、分かりやすい説明に努める。
- (4) 印刷媒体のほか、DVDやインターネット等の活用により映像資料の可能性も考慮しながら、市民が親しみやすい市史へと工夫する。
- (5) 政治、経済、行政史に偏ることなく、地域に暮らした人々の視点から、市民の皆さんの日常の暮らしぶりなど身近な生活様式の移り変わりにもスポットを当てていく。
- (6) 本市の地域的、歴史的、文化的な特性に配慮し編さんする。
- (7) 編さんに係る調査を通じて収集した各種資料は、編さん後も市民の皆さんの役に立つよう、保存・公開方法を検討し、後世に受け継がれる仕組みづくりを行う。

4. 編さん体制

(1) 市史編さん委員会

市史編さんの基本的な方針の調査審議及び市史の編さんを行う

(2) 市史編さん事務局

事務局は、企画総務部総務課市史編さん室におく。

大牟田市史編さん事業について

現行の『大牟田市史』 上巻、中巻、下巻、補巻
自然地理、原始・古代・中近世・近代～概ね昭和38年まで網羅

現行市史編さん後50年が経過 & 平成29年に市制100周年を迎える

市制100周年記念事業の一環として市史編さん

I 大牟田市史 昭和後期～平成巻

昭和39年頃～平成25年
頃の50年間の出来事を記
録し、後世に残す

完成目標：平成30年度

II 年表と写真で見る 大牟田市100年のあゆみ

市制施行から100年間の主な事項を
年表形式でまとめ、写真を多用し、多く
の市民の方が気軽に手に取って眺めら
れるような冊子を作成

完成目標：平成29年6月

III 大牟田市史 追補編

現行の市史の中で訂正
や追加が必要な部分に
ついて補うもの

完成目標：平成30年度

IV 市史資料編

今回の市史編さんの過程で収集した資料(史料)を集成
するもの。膨大な分量となることや映像資料への対応な
ども考えられることから、デジタル媒体の活用も図る

完成目標：平成30年度